

お取次を願ひます』

『まあそんなお固い事を仰有らずに。第一夫れではお出迎えに來た、我々兩人が使者の役目が済みまへん。オイ繁八、お手をお取り申せ、ヘエ旦さん、どふぞ／＼』

『アこれ。そ、そんな無茶な。イヤま待つとくなはれ。わ私しが行くと。コレ具合が悪いちウのに……』

……』

『ヘエ若旦那、灰屋の旦那をお連れ申しました』

『オ、灰常はん。サア／＼此方へ／＼。これは思ひも掛けづ有難い。さ早ふ此方へ來とくなはれ……何だんねナ、そない叮嚀にお辭儀ばつかりして。……アツお前は番……』

『押し掛けまして相済みまへん。チヨツとお話し申し度い事が有て参りました。どうぞ暫く次の間へお越しを願ひます』

『ウーム。…………いや解たアる／＼。何も云ひなや。番頭黙つて呉れてゝも、ちやあんと解つたアるね。宜えか。何んにも云ひ無しやで。コレ皆挨拶しどき。内の番頭はんや。粹な男や無いか、私いを吃驚さそ思ふて、友達の名云ふて來たりして、此方は眞面まともに調伏に掛つて仕舞ふたがナ。アハハ、＼＼。コレ何をボンヤリしてゐね。早ふ盃を持て往きんか』

『ヘエ御番頭さん。まあ一つ御免やす』

『ヘエ大きに有難ふ御座ります。併し私は今日はお酒を頂きに來たのとは違ひます。』

『コレ番頭。解つたると云ふてるがナ。サ一杯飲み。ナア飲んで遣りイな、藝人がテレるがな』

『何と仰有ります。藝人がテレる……あゝお情け無い。モシ若旦那』

『シツ』

『若旦那』

『解つたアる』

『エ、貴方様はなア……』

『チヤチヤ／＼チヤンリンリ……高砂屋ア』

『誰れや夫んな事云ひなはるのは。私は何も役者の假聲遣ふてゐるや御座りまへん。もし若旦那、吹けば飛ぶ様な奉公人の身分では御座りますが、お家の爲を思えばこそ、涙と共に御意見を申し上げたのは、たつた今朝の事やムりませんか。なさるにも事缺いて、丁稚たごを誑たぶらかして脱けて出る……』

『惡るかつた／＼。よう解つたアる。ナ、そや依てに兎に角熱い酒さけを一杯キユツと』

『ア、未だ夫んな事を仰有る。……あの厳しい親旦那の蔭になり陽向ひなたになり……』

『濟まん／＼。そや依てに機嫌直して一杯丈け飲んで。宜えか、フム／＼いや尤もや。マア一杯。ヤ無理はない。イヤ解つたアる。そりや俺しが惡るか……エーイ喧けんかましいワイ。歸に腐れ土阿呆奴